

学校名 川口市立中居小学校
所在地 川口市南鳩ヶ谷2丁目1番1号
電話 048-281-3322

【季節の掲示】



1 本校の概要

本校は、開校65年をむかえ、交通の便がよい住宅街にある。図書館の床全面改装・バーコードの導入と、徐々に、学校図書館運営が軌道に乗り始めている。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止策を徹底しながらも、児童の「読書熱」を絶やさない活動を、教職員・学校図書館司書・図書ボランティアとともに進めてきた。

2 本校の実践

(1) 読書活動の継続に向けた各種通信等

ア 学校だより

すきすき！本だより

中居小 図書部

読書の秋！本を読みましょ！

季節はすっかり秋となりました。残暑も和らぎ、少しずつ過ごしやすい日が続くようになりましたね。

秋といえば「読書の秋」です。秋は平均気温が14～16度くらいとなり、脳の活動に最適な気温の時期です。そのため、読書に没頭しやすい時期だと言われています。ゆったりとした時間を過ごし、本の世界に入り込んでみてください。

中居小の図書室は、今年からPTAからの協力・奇體のもと、完全に電子化し、バーコードを使って本の貸し出し等を行っています。従来のように図書カードに必要事項を書いて…という作業がなくなり、手軽に本の貸し出し・返却ができるようになりました。また、休み時間の図書室利用は、学年ごとに使える曜日を決め、密を避ける工夫をしています。昨年行った読書ビンゴや読書すごろくの取り組みはできそうにありませんが、今できる精一杯の取り組み方で、子供たちの読書活動を盛り上げていきたいと思ひます。

イ 教職員向け通信「よもよも通信」

よもよも通信

中居小学校図書館だより第2巻
令和2年7月3日(金)

オリエンテーションで借りた本の返却について

図書館オリエンテーションで借りた本についてですが、割り当てられた休み時間に、できる限り1週間以内に返却をさせていただきます。1年生や年少さん、その他クラスで返却する場合ですが、10日(金)までオリエンテーションが入っていない様ですので、15日(月)の日に返却をするか、オリエンテーションが入っていない曜日(月末)もしくは、返却書のオリエンテーションが入っていないコマを借っていない日を選んで返却してください。その場合は、従来の図書室時間でも返却していただけます。貸出の時間割に割り当てられたクラスとご相談ください。

本の貸し出し・返却方法について

クラスで図書室を借る場合、担任の先生に貸し出し返却処理を行っていただくこととなります。手順を簡単にまとめますので、ご確認ください。(質問は、いつでもどうぞ)

- ① 図書準備室の鍵を借りる。(場所は職員室前の方の隣付近)
- ② 図書室の中から図書準備室に入る。
- ③ 入ってすぐの扉にパソコンが置いてあるので、充電の線だけ抜き、カウンターに移動させる。
- ④ パソコンを開機。パスワードを入力。(電源は常に付いた状態です)
- ⑤ パスワードは、パソコンが貼ってあります。
- ⑥ 貸し出しor返却の画面に切り替わる(貸し出しと返却はタブで移動)ので、返却の場合は返却の画面で、本のバーコードのみ、ピット読み取る。貸し出しの場合は、貸し出しの画面で、個人バーコードをピット読み取ったあと、本のバーコードを、ピット読み取る。
- ⑦ すべて終わった後、電源を切らずに本の貸借の画面の電源、パソコンを閉じる。
- ⑧ パソコンを図書準備室に戻し、充電の線を繋ぎます。

ウ 感染防止に向けた学校図書館利用表の作成

図書委員会の児童による貸出し制限を行った。そこで、均等に学校図書館を利用できるよう利用表を作成し、担任による貸出しを可能にした。

	月	火	水	木	金
1				1年2組	1年3組
2	1年5組	4年1組	3年1組		6年1組
15分 休	1年5年	2年6年	1年5年	2年6年	3年4年
3	2年3組	2年2組	1年1組	5年3組	2年1組
4	3年3組	4年3組	2年4組	5年2組	3年2組
15分 休	2年3年 3年6年	1年3年 3年4年	3年4年	2年4年 4年5年	2年5年 5年6年
5		6年2組	6年3組	1年4組	5年4組
6	なかよし	4年4組		4年2組	5年1組

(2) 学校応援団「図書ボランティア」の活動

児童が、学校図書館に通いたくなるよう季節の掲示だけでなく、参加型の掲示(おもしろかった本の紹介、クリスマスプレゼントで届けてほしいもの等を募集)を作成し、児童に興味をもたせている。

(3) 「SDG s」を児童に浸透させ、深化させる取組
 (「SDG s」は、2030年までに世界が達成すべき目標)

【学校図書館に「SDG s」コーナーを設置】



本校では、2年前から高学年を中心に自主学習で取り組んできた。今年度は、各学年で学級活動、総合的な学習の時間を中心に「SDG s」の学習を取り入れた。そこで、児童の「もっと知りたい」という意欲に応えるため、学校図書館に「SDG s コーナー」を設置した。本の紹介だけでなく、ボランティアが自ら調べた資料を掲示し、問題提起をし、児童の気付きや思考を高めている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

昨年度より、バーコードでの図書資料の管理を進めている。

今年度は、図書委員会の活動が制限される中、担任が積極的に授業の中で、学校図書館を利用する姿があった。これは「読書活動継続」に向けた各種通信や、バーコードによる図書資料管理が可能になったことで、教職員が、学校図書館の利活用に意識が向いたことにあると思う。

(2) 課題

バーコードの導入により、学校図書館の運営が行いやすくなった。児童に人気の本、分類別の蔵書数など、今後の選書に蔵書データを十分生かすことが、ますます読書熱を高めることにつながる。今後は、各教科等との連携を図り、学校図書館が、単に読書センターだけではなく、学習・情報センターとして機能するよう、改善していく。

